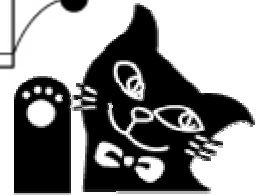


門真市民劇団“いっぽ”自己紹介の巻



はじめに

みなさん、こんにちわ！本日、ご案内させていただきます、初代タマと申す猫でございます。なぜに、猫である私タマがご案内できるかと申しますと、この門真にはいろんな言い伝えがございます、あらあら不思議な物語の中に、この私 タマの話も入っているのでございます。とまあ、私の話はさておきまして門真市民劇団イヨ！チョン！“いっぽ”のご紹介へと移らせていただきます。

いっぽの紹介

平成10年8月22日に突如として、発足した劇団。なんと、演劇に一度も関わったことのない主婦7人、無謀にも劇団を立ち上げてしまったのであります。もちろんそこには 大きな夢や希望を抱き、子どもが何かに集中出来る場面を与え、みんなで創りあげる喜びを共に感じながら、その中で人との繋がり、思いやりを育めるといいな〜と、とにかく想いを一杯持ったのだニャ。

まず、門真市民、文字どおり、みんなの劇団だニャ。今にして思えば規模が小さすぎましたニャ。劇団員には他市の子どもも入ってるんだからニャ。考える余地有り。また、“いっぽ”と言う名称も決まるまで大変でした。しかし、何年たっても初めの一步でありたい、あり続けたいという思いで決定。とは申しまして、まず、地域の皆様にいかにして知っていただけるかニャ？これが一番の悩みでありました

ウ〜ン！（悩み中）ピンポ〜ン！（キラリと閃くアイデア）

ひと人戦術。何のことはありません。ただひたすら、人から人へまたまた人へと口込み作戦へと乗り出したのであります。〜ア〜疲れた。一休み一休み。と、休んでいる暇はありません。

合言葉は“ルミエールへ来てくださ〜い”

いっぽの夢

こうやって、地域に根づいた文化を、合言葉に毎年公演を続けているのですニャ。毎年が勉強の日々だニャ。いろんな子どもがいるんだからな〜。でもいつも思うのは、誰でも何かハラハラドキドキするものを、求めているんだからニャ。

そんな地域の皆と表現を出来る場所でありたい、創っていきたい。

そして何よりも「夢を語り、夢を信じ、していく努力を惜しまず、

いっぽ、いっぽ、歩み続けて生きたい」と願っているニャ。頑張るのだ！

